

1306 大豆戸小学校 『大豆戸まめまめ作戦』 3年生65名が授業で大豆の苗植え
・・・篠崎元彦町内会長さんと地域の方々の支援で、見事に植えられた・・・



きれいに耕された学年園



打ち合わせをされるボランティアの方々



説明を聞く3年生



さて・・・読み方は？

大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会代表・大豆戸町内会長の篠崎元彦さんの感想

6月17日(月)、以前から大豆戸小学校と打ち合わせをしてきた、『大豆戸まめまめ大作戦』実行の日がやってきました。

地域で協力してくださるボランティアの方々10名と共に大豆の苗と腐葉土、それに肥料を携えて、大豆戸小学校に向かいました。

約束の時間の1時間前に到着。早速、4坪ほどのかわいい畑(学年園)を耕し、雑草を取り、畝を作って準備を整えました。

やがて、2時間目の授業を終えた子どもたちが手に手に小さなシャベルを持って畑にやってきました。『まめまめ作戦』の名の通り、あたかもこれから大仕事に取り掛かるような整然とした列を作ったの登場です。

なぜこの大豆戸小学校の畑に大豆を植えようとするのか？まず、そのことから子どもたちに話をしました。

『大豆戸町にある大豆戸小学校、なぜ大豆戸と書いて《まめど》と読むのだろうか。』

『昔は、この地域で大豆が沢山採れたのではないか。何か大豆に関係があるのでは』などと、そんな話にも子どもたちは興味をもったようです。

当日参加した3年生63名。小さな穴を掘ってそっと植える子。苗と苗の間に肥料を埋める子。苗のまわりの土に静かに水をまく子。

子どもたちは、それぞれ慎重に、しかも、楽しそうに目を輝かせて36本の苗を無事に植えることができました。時々水をあげることを約束。夏休み前には大きく育った大豆が(枝豆が)収穫できることでしょう。

約1時間の体験学習でしたが、自然とか、植物とか、環境とか、何かを得てくれれば嬉しいと思っています。

最後に一緒に苗植えを手伝った私たちに対して、大きな拍手と感謝の言葉をいただき私たちも満足の日でした。

3年生の担任の先生から、『子どもたちからの感想文』をいただきましたので、その一部をご紹介します。

○私は、なぜ大豆戸と書いて(まめど)と読むのか知りたかったのですが、今日教えてもらったので、いろいろわかってうれしかったです。

○今日は、ダイズを植えるのははじめてです。ダイズの植え方や水のやり方を教えてくれてありがとうございました。

○今日教えてくださったことを生かして、今育てているハウセンカを育てていきたいです。楽しかったです。

○私は、水を葉にやらず、葉のまわりの土にやってきゅうしゅうするなんてはじめてしりました。ゆうがたに水をやるのはたいへんだけど、がんばりおいしい豆をたくさんとるので、おうえんお願いします。

○わたしも家でパセリといちごとレモンとミニトマトなどを植えています。今日、教えてくれたことをいかして、大豆戸交流会やほかの学年などに見せてみたいです。またいろいろ教えてください。



苗の植え方を学んで



二人一組になって



どう・・・うまくいきそう？



うまくいったみたい・・・



土をかぶせて



みんなで協力だ



苗をていねいに



苗が気持ちよさそう



苗のまわりに水をあげてね



じょうずに水やりできているよ



子どもたちに拍手された地域の方々



完成



大豆の苗



脇にアジサイが微笑んでいました。